

平成25年12月6日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2件  
(うち石油ストーブ(開放式)1件、石油ふろがま1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因が疑われる事故 5件  
(うち電気温水器1件、扇風機1件、電気冷蔵庫1件、テーブルタップ1件、  
自転車1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因か否かが特定できていない事故 7件  
(うちアルカリ乾電池1件、電気衣類乾燥機1件、  
水槽用サーモスタット付ヒーター1件、電子レンジ1件、電気毛布1件、  
パネルヒーター1件、眼鏡フレーム1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)  
において、審議を予定している案件  
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会  
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号A201300112を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1)株式会社アピックスインターナショナルが輸入した扇風機の新規リコール（無償製品交換）について（管理番号A201300507）（経済産業省と同時公表）

#### ①事象について

当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故は、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき、重大製品事故報告を受け、2013年（平成25年）10月29日に「ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故」として公表していたものです（管理番号A201300507）。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品下部にあるLED基板からの出火か、電源コードの断線による出火と考えられます。

これまで同社で輸入した扇風機で発生した重大製品事故は3件報告を受けています（管理番号A201300507、A201200394及びA200900417）。このうち2012年（平成24年）8月18日に発生した重大製品事故（管理番号A201200394）及び2009年（平成21年）7月24日に発生した重大製品事故（管理番号A200900417）については、事故原因の特定に至りませんでした。当該製品下部からの出火と考えられるものとして調査を終了し、その結果を公表済みです。なお、これら3件の事故については、いずれも人的被害はありません。

#### ②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、本日（12月6日）、同社ウェブサイトへの情報掲載を行うとともに、明日（12月7日）、新聞社告を行い、対象製品について無償製品交換を実施します。

#### ③対象製品：製品名、対象機種、販売期間、回収対象台数

製品名	対象機種	販売期間	回収対象台数
扇風機(タワーファン) APICE	AFT-677RI(WC) " (IS)	2007年3月 ～ 2009年8月	21,000台

#### 対象製品の外観及び確認方法

##### 1) 対象製品の外観



(WC)

(IS)

## 2) 確認方法

### 品番確認箇所



注) 製品本体の背面下に、上図様式の定格表示ラベルが貼付されています。

### ④事業者の対応

無償製品交換を実施します。

### ⑤事業者の告知

- ・ウェブサイトへの情報掲載 平成25年12月6日(金)
- ・販売店等への協力要請 平成25年12月6日(金)以降順次
- ・新聞社告 平成25年12月7日(土)

### ⑥消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社アピックスインターナショナルの問合せ先)

電話番号：0120-19-2000

受付時間：9時～18時

9時～17時(年末年始 ※12月31日～1月3日)

ウェブサイト：<http://www.apix-intl.co.jp/>

(2) シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫について（管理番号A201300584）

①事象について

異臭がしたため確認すると、シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫の内部部品を焼損する火災が発生していました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー（起動用電気部品）内のPTC素子（電流を制御する部品）の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2012年（平成24年）4月16日にプレスリリース、翌4月17日に新聞社告を掲載するとともに、引き続きウェブサイト情報を掲載し、また、販売店を通じて使用者にダイレクトメール等で呼び掛け、対象製品について無償点検・部品交換（始動リレー（起動用電気部品）の交換）を実施しています。

また、同社は、2013年（平成25年）3月7日から同社の会員登録を通じたメールマガジンでリコール情報の案内を行い、さらに、同年4月4日からリニューアルしたチラシを同社製品全般の修理依頼があった際に配布するとともに、全国の消費者センターへ配布を行い、引き続き注意喚起及び無償点検・部品交換を呼び掛けています。

③対象製品等：製品名、機種・型式、対象製造番号、製造期間、改修対象台数

製品名	機種・型式	対象製造番号	製造期間	改修対象台数	
電気冷蔵庫	シャープブランド	SJ-350JB(-H)	1996年12月 ～ 2001年3月	15,600台	
		SJ-E35KC(-H)		26,300台	
		SJ-EX357(-H)		20,300台	
		SJ-EX447(-H)		29,700台	
		SJ-V35WB(-H)		3,400台	
		SJ-V35WC(-H)		4,500台	
		SJ-W358D(-G/-H)		6,500台	
		SJ-W359D(-C/-H)		10,200台	
		SJ-W35A(-G/-H)		73,380台	
		SJ-W35B(-G/-H)		74,920台	
		SJ-WA35C(-C/-H)		130,672台	
		SJ-WE38A(-G/-H)		68,245台	
		SJ-WE44A(-G/-H)		54,300台	
		SJ-WH350(-C)		8,400台	
		SJ-WH380(-C)		7,900台	
		SJ-WJ440(-H)		4,300台	
		SJ-WS350(-H)		1,700台	
		SJ-E30B(-W)		10010001～10019910	80,600台
		SJ-E30B(-C)		20010001～20059210	
	SJ-E30B(-H)	30010001～30031480			
無印良品ブランド	SJ-R35C	全ての製造番号		48,780台	
				60,373台	
				5,500台	
合計				737,080台	

※表中( )内は色調コードです。

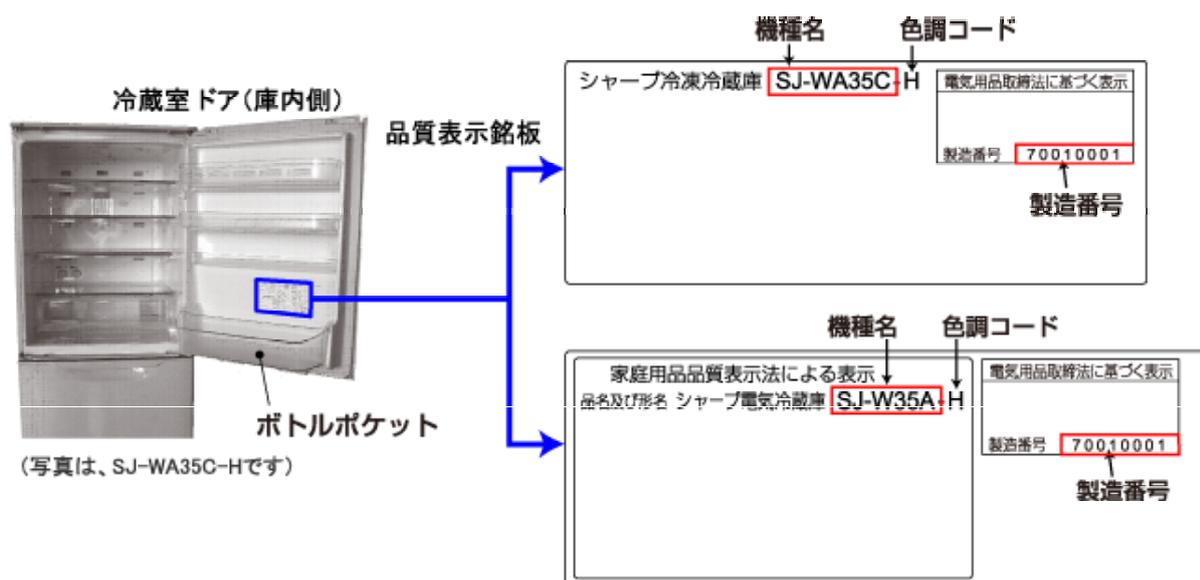
2012年4月16日からリコールを実施  
改修率 22.7% (2013年10月31日現在)

## 対象製品の外観及び確認方法

### 1) 対象製品の外観 (写真はS J - E X 4 4 7)



### 2) 確認方法



注) 冷蔵室ドア内側に、右図様式のいずれかの品質表示銘板が貼付されています。

### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(シャープ株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-404-511

受付時間：9時～18時(月～土曜日)

9時～17時(日曜・祝日)

ウェブサイト：[http://www.sharp.co.jp/support/announce/sj\\_info\\_120416.html](http://www.sharp.co.jp/support/announce/sj_info_120416.html)

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課  
(製品事故情報担当) 担 当：大木、長井、清重  
電 話：03-3507-9204 (直通)  
F A X：03-3507-9290

(株式会社アピックスインターナショナルが輸入した扇風機についての発表資料に関する問合せ先)

(シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室  
担当：水野、角田、中谷 電 話：03-3501-1707 (直通)  
F A X：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300587	平成25年11月22日	平成25年12月3日	石油ストーブ(開放式)	SX-B26Y	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品を点火したまま、別室でタンクに給油していた状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201300593	平成25年11月16日	平成25年12月4日	石油ふろがま	JPM	株式会社長府製作所	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	新潟県	製造から30年以上経過した製品

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300112	平成25年5月5日	平成25年5月15日	電気温水器	HPL-T371MC	東芝機器株式会社 (現 東芝キャリア株式会社)	火災	異音に気付き確認すると、配管から漏水し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品の制御基板の電解コンデンサーが経年劣化し、制御基板内の電圧が不安定になったため、ヒーター用リレーが頻繁にON・OFFを繰り返し、接点部にアーク放電が連続的に発生し出火した可能性が考えられるが、当該コンデンサーが未回収で確認できないことから、事故原因の特定には至らなかった。	岩手県	平成25年5月17日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201300507	平成25年10月12日	平成25年10月25日	扇風機	AFT-677RI	株式会社アピックスインターナショナル (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品下部から出火に至ったものと推定され、LED基板からの出火が、電源コードの断線スパークによる出火が考えられる。	愛知県	平成25年10月29日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故として公表していたもの 平成25年12月6日からリコールを実施(特記事項を参照)

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300584	平成25年11月21日	平成25年12月2日	電気冷蔵庫	SJ-EX447	シャープ株式会社	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー(起動用電気部品)内のPTC素子(電流を制御する部品)の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられる。	東京都	平成24年4月16日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 22.7%
A201300588	平成25年11月17日	平成25年12月3日	テーブルタップ	不明	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品に電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛知県	
A201300590	平成25年11月6日	平成25年12月4日	自転車	7.6FX	トレック・ジャパン株式会社 (輸入事業者)	重傷1名	当該製品に乗車中、当該製品のフロントフォークが折れて転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が事故を認識したのは11月25日

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300585	平成25年11月4日	平成25年12月3日	アルカリ乾電池	重傷1名	当該製品4本を懐中電灯に装着していたところ、当該製品から液漏れが発生し、子供が火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が事故を認識したのは11月21日
A201300586	平成25年11月17日	平成25年12月3日	電気衣類乾燥機	火災	店舗で当該製品及び当該製品内部(ドラム内)の可燃物(タオル)を焼損する火災が発生した。可燃物(タオル)に付着していたオイル成分の酸化熱により自然発火した可能性を含め、現在、原因を調査中。	宮崎県	
A201300589	平成25年11月13日	平成25年12月3日	水槽用サーモスタット付ヒーター	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品を水槽から出し、電源プラグを抜かずに放置していた状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	12月5日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300591	平成25年10月28日	平成25年12月4日	電子レンジ	火災	当該製品を使用中、当該製品庫内から発煙・出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは12月3日
A201300592	平成25年11月11日	平成25年12月4日	電気毛布	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	茨城県	12月5日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300594	平成25年11月7日	平成25年12月4日	パネルヒーター	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	宮城県	事業者が事故を認識したのは、11月11日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意 11月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300595	平成25年9月1日	平成25年12月4日	眼鏡フレーム	重症1名	当該製品を使用していたところ、皮膚が炎症を起こした。当該製品との因果関係を含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	事業者が事故を認識したのは、10月10日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

電気温水器（管理番号：A201300112）

